



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
と  
ツムぐ学生

第40号

2017年8月10日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

### 夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.19

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、  
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

## わくわく算数・数学教室 前半総括



※この様子はDVDに動画が収録されています。

#### 大澤先生より

この事業をたくさんの方が見に来てくれた。どなたも喜んでくれた。褒めてもらった。これもSPさんのおかげ。子どもは皆よい雰囲気勉強してくれていた。

#### 小堂先生より

SPさんは、目の前の子に、すごく考えて声をかけてくれました。ありがとうございます。ここで学んでほしいのは、「自分にしかできない指導に磨きをかけてほしい」ということです。現場感覚を磨いてください。

#### 中村先生より

算数で、「位が変わる」ということがまだ分からない子に、それを教えなければならない。小学校の現場に出たら、そういうことをやっていく。中学・高校の先生は、下でそういうことが行われていることを知っていかなくてはならない。

わくわく算数教室は、補充学習。この補充学習で、少しでも多くの子を拾ってあげなければならない。しかし、大事なものは、その前にある授業。授業づくりが一番大切。教師は授業で勝負。授業で子どもを幸せにするのが教師。

1対1の積み重ねが、1対30、1対40になる。この「わく算」での経験は、絶対に現場で生きる。生かしてほしい。

大澤先生は感謝の言葉を、小堂先生はここで学んでほしいことを語ってくださいました。

中村先生は、現場に出たときに大事なこと、根底の部分をお話してくださいました。こういう話が聞けるのも、わくわく算数だけです。SPさんにとって学び多き前半の総括だったと思います。まさしくWin-Winですね。

東浦中学校竹内稔博先生作成の「わくわく算数・数学教室通信第19号」を「ツムぐ学生」用に改編しました。